

再評価結果（平成21年度事業継続箇所）

担 当 課：道路局国道・防災課
担当課長名：深澤 淳志

事業名	一般国道16号 <small>はちおうじかくふく</small> 八王子拡幅	事業区分	一般国道	事業主体	国土交通省 関東地方整備局
起終点	自) 東京都八王子市中野上町 <small>はちおうじしちゅうのかみちよう</small> 至) 東京都八王子市左入町 <small>はちおうじしさにゆうまち</small>			延長	2.7 km
事業概要	国道16号は、横浜、相模原、八王子、大宮、千葉、横浜、を結ぶ延長約339kmの重要な環状道路である。八王子拡幅は、4車線区間に挟まれた現道2車線区間であり、著しい渋滞区間になっているため、交通渋滞緩和と安全性向上を図り、国道機能の確保を目的として計画された事業である。				
S54年度事業化	S36年度都市計画決定 S39年度都市計画決定 (S51年度変更)	S55年度用地着手	S60年度工事着手		
全体事業費	約177億円	事業進捗率	75% (H20年12月)	(4/4)車線区間延長	1.5 km
計画交通量	31,300~45,600台/日				
費用対効果 分析結果	B/C: (事業全体) 1.5 (残事業) 4.8	総費用: (残事業)/(事業全体) 46億円/237億円 事業費: 43/230億円 維持管理費: 2.9/6.5億円	総便益: (残事業)/(事業全体) 222/350億円 走行時間短縮便益: 198/299億円 走行経費減少便益: 22/48億円 交通事故減少便益: 1.3/2.2億円	基準年	平成20年度
感度分析の結果	残事業について感度分析を実施 交通量変動 : B/C=5.4 (交通量+10%) B/C=4.2 (交通量-10%) 事業費変動 : B/C=4.4 (事業費+10%) B/C=5.3 (事業費-10%) 事業期間変動: B/C=4.6 (事業期間+1年) B/C=4.9 (事業期間-1年)				
事業の効果等	<ul style="list-style-type: none"> 円滑なモビリティの確保（混雑時旅行速度が20km/h未満の旅行速度改善が期待される） 都市の再生（市街地開発、区画整理等の沿道街づくりとの連携あり 中野西・中野中央土地区画整理事業） 他6項目 				
関係する地方公共団体等の意見	八王子拡幅箇所は、路線バスの重要な運行路線であることから、(社)東京バス協会から早期整備の要望を受けている。				
事業採択時より再評価実施時までの周辺環境変化等	ひよどり有料道路がH13.1開通、H19.6無料化。中野中央土地区画整理事業が平成20年度で道路用地確保完了。中野西土地区画整理事業が継続中。				
事業の進捗状況、残事業の内容等	(2/4)車線区間(1.2km)では、用地買収が75%まで進捗（平成20年12月末） 早期の効果発現のため、取得した用地を活用し段階的整備を行っている。				
事業の進捗が順調でない理由、今後の事業の見通し等	今後、残る用地取得を強力に推進し、特に区画整理事業において国道拡幅用地を優先的に確保するよう調整し、平成25年度頃の供用を目指す。				
施設の構造や工法の変更等	-				
対応方針	事業継続				
対応方針決定の理由	(2/4)車線区間の必要性、重要性は変わらないと考えられる。				
事業概要図					

総費用、総便益とその内訳は、各年次の価額を割引率を用いて基準年の価値に換算し累計したものの。